

2020 年度星槎大学大学院 シラバス

科目名 学級経営・学校経営特論 (R2 認定通信)	単位数 4 単位	担当教員 大隅心平
テキスト 浜田博文 (2012) 『学校を変える新しい力』 小学館 白松賢 (2017) 『学級経営の教科書』 東洋館出版社		
<p>科目の概要</p> <p>学級経営、学校経営の今日的な課題をとらえ、教育目標の達成を目指す組織的計画的な運営及び学びの場における相互関係の形成について理解する。学びの場における相互関係は、「主体的対話的で深い学び」を通じて、これからの時代に求められる「資質・能力」を育成する基盤である。一人一人の自立と成熟を支える集団の形成と維持・向上に求められる知識・技能・態度について理解し、「学びに向かう集団」を育む組織運営について考察する。</p>		
<p>I 科目の目的・ねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 集団の維持・向上に求められる知識・技能、実践力を通して学びを支える相互関係のあり方を考察する。 2 学校における教育指導の基礎単位である「学級」の組織と運営について理解し、自立と成熟の基盤となる相互関係（集団）の形成を構想する。 3 教育ビジョンの実現をめざす組織マネジメントの課題をとらえ、経営参画に係る実践力を身につける。 		
<p>II 授業計画と評価</p> <p>第 1 回 学びの土壌を耕すー子供たちの現状と相互関係形成の課題ー</p> <p>第 2 回 学級経営・学校経営の諸課題ー教育組織の運営と改善ー</p> <p>第 3 回 学級の組織と運営ー学級集団の構成要件ー</p> <p>第 4 回 相互行為システムとしての学級ー「秩序」「自治」「教育(学習)」空間としての学級ー</p> <p>第 5 回 相互関係における規範意識ー学級の規範構造と道徳教育ー</p> <p>第 6 回 学級集団の自治的実践力の形成ー学級における合意形成と特別活動ー</p> <p>第 7 回 学びに向かう集団の形成の組織的な取組ー基盤としての「生徒指導」モデルー</p> <p>第 8 回 自立と成熟を支援する学級経営ー「個性化」と「社会化」をめぐってー</p> <p>第 9 回 学校の組織的特性と経営参画ー教育活動における「個業」と「協働」ー</p> <p>第 10 回 組織運営の P D C A サイクルー組織運営の課題と学校評価ー</p> <p>第 11 回 教育課題と組織マネジメントー教育活動の組織的基盤ー</p> <p>第 12 回 学級経営：学校経営の事例分析ー「チーム学校」の実践と課題ー</p> <p>第 13 回 新しい学校運営ー「コミュニティスクール」の構想と実際ー</p> <p>第 14 回 自校における相互関係形成の構想ー教育の構想と具現化ー</p> <p>第 15 回 学びの土壌を耕すーこれからの学級経営・学校経営ー</p> <p>科目修得試験</p>		

評価 レポート 50%、科目修得試験 50%の割合で行う。

Ⅲ学修の課題と流れ

指定のテキスト及び参考文献等を読んで、シラバスの各回に係る課題について学修を進める。単行本以外の論文等は所定のフォルダにアップする。

1. 学修課題と学修の進め方

(1)第1回～第3回 (学級経営をめぐる諸問題-子どもの現状と学級経営の課題-)

- ①自校の児童生徒の現状と課題について考察する
- ②改訂学習指導要領における学級経営の課題をとらえ、児童生徒の現状をふまえた自校の課題を考える。
- ③学級集団の組織と運営について理解する。

(参考文献等)

白松賢 (2014) 「授業/学級づくりに関する教育方法学的研究(1)-教育課程にみる「学級経営」概念の日本的特色に着目して-」愛媛大学教育学部紀要第61巻
高橋克巳 (1998) 「学級に関する二つの概念モデル-「教授効率志向」と「集団づくり志向」-」名古屋大学教育学部紀要(教育学)第45巻1号

(2)第4回～第8回 (主体的・対話的で深い学びの成立と学級経営-学びに向かう集団の形成-)

- ①「主体的・対話的で深い学び」の基盤となる相互関係について考察する。
- ②「秩序」「自治」「学習」の観点から学級の構造について理解する。
- ③学級における相互関係の形成について「規範」と「自治的実践力」の観点から考察する。
- ④「個性化」と「社会化」の観点から、学級における自己形成の支援について考察する。

(参考文献等)

蓮尾直美・安藤知子編 (2013) 『学級の社会学・これからの組織経営のために』ナカニシヤ出版
大隅心平 (2017) 「学級経営の実践課題-道德教育と学級活動との関連-」星槎大学紀要共生科学研究 No. 13

(3)第9回～第11回 (学校の組織運営と経営参画-学校の組織構造の特性と協働化-)

- ①「個業」と「協働」の観点から、学校の組織特性について理解する。
- ②事例を参照して教育目標の達成をめざす組織運営のあり方を考察する。
- ③P D C Aサイクルの観点から教育活動の改善と経営参画のあり方を考察する。

(参考文献等)

佐古秀一 (2006) 「学校組織の個業化が教育活動に及ぼす影響とその変革方略に関する実証的研究-個業化、協働化、統制化の比較を通して-」 鳴門教育大学研究紀要第 21 巻

浜田博文 (2016) 「公教育の変貌に応えうる学校組織論の再構成へ-「教職の専門性」の揺らぎに着目して-」 日本教育経営学会紀要第 58 号

(4) 第 12 回～第 15 回 (これからの学校運営-「チーム学校」「コミュニティスクール」構想と課題-)

- ① これからの学校運営に期待される「チーム学校」「コミュニティスクール」について理解する。
- ② 「チーム学校」構築の課題と問題点について考察する。
- ③ 「生きる力」を育む自校の教育構想と実践課題についてまとめる。

(参考文献等)

国立国会図書館・調査と情報 (2017) 『「チームとしての学校」をめぐる議論』

佐藤晴雄 (2012) 『「新しい公共」に基づく学校と地域の関係再構築-コミュニティ・スクールの実態から見た新たな関係性-』 日本教育経営学会紀要第 54 号

樋口修資 (2017) 『学校組織運営論からみる「チーム学校」の批判的考察と教員のワークライフバランスの実現』 明星大学研究紀要-教育学部第 7 号

2. レポートを書き、学生ポータルサイトより提出する。
3. 科目修得試験の申し込みをする。
4. レポート合格後、科目修得試験を受験する。

参考文献

浜田博文 (2012) 『「学校ガバナンス」改革の現状と課題：教師の専門性をどう位置づけるべきか?』 日本教育経営学会紀要54号

滝充 (2006) 『理論的分析枠組みとしての「生徒指導モデル」の有効性の検討』 国立教育政策研究所紀要第 135 集

熊井将太 (2014) 「学級経営論の教育方法学的検討-学級経営の再評価をめぐる国際的動向」 山口大学教育学部研究論叢第 63 巻

妹尾昌俊 (2015) 『変わる学校変わらない学校』 学事出版

蓮尾直美・安藤知子編 (2013) 『学級の社会学・これからの組織経営のために』 ナカニシヤ出版

その他 特記事項なし